

令和 8 年(2026年) 9 月 30 日

保護者の皆様

札幌市立東札幌小学校
校 長 築 田 光

本校における「全国学力・学習状況調査」の結果
及び改善の方向等についてのお知らせ

秋冷の候 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月23日に6年生を対象として実施した「全国学力・学習状況調査」における設問ごとの正答数や誤答数などが分かる個人票を7月22日(水)に受検した6年生の保護者の皆様に配付させていただきました。

そのデータをもとに、本校の調査結果について分析を行い、その概要を取りまとめましたので、お知らせいたします。

今回の調査結果における課題及び改善の方向等に基づき、学校全体として、今後の学習指導の改善に役立ててまいります。

今後とも、保護者の皆様には、本校への教育活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【小学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◆全国平均をやや上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◆全国平均を上回っている。

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均をやや上回っている。

「書くこと」

◆全国平均をやや下回っている。

「読むこと」

◆全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

➤ 漢字の種類によって正答率に大きな開きがあり、文脈や用法に合わせて文章の中で正しく使う力に課題。

➤ 語句の関係を図等で整理する力には習熟の余地あり。目的に応じて情報を構造的に捉え、適切に整理・関係付ける力が求められる。

➤ 自分の考えが伝わるよう資料や話の組み立てを工夫する力に、さらなる定着が必要。状況に応じて、論理的に表現する能力の向上が今後の重点課題。

➤ 文章を書く前の準備段階として、理由や事例を挙げながら話の中心を明確にする構成メモを作成し、話の構成を考える力に課題。

➤ 文章の種類や特徴を捉える力は全国を下回っている。文章の目的や意図に応じた、構成上の特徴を構造的に把握する力に課題。

改善の方向

➤ 短文作成等の活動を日常的に取り入れ、文脈の中で漢字を正しく使う練習を行う。個別指導に取り組み、語彙力と表記の正確性を向上させる。

➤ デジタル上での思考ツール活用を推進する。情報の取捨選択や視覚的な整理を日常化し、論理的思考の定着を図る。

➤ 構成メモを用いて話の筋道を立てる指導を強化する。全国平均を下回った「構成の工夫」を重点的に扱い、理由や事例を挙げて話す力を育成する。

➤ 作文指導時、構成メモを作成する過程をルーチン化する。論理的な文章構成を考える習慣を定着させ、記述の質と意欲の向上を図る。

➤ ICTを活用して多様な文章構成を比較・分類する活動を導入。文章の特徴を捉える視点を養い、内容を精緻に読み解く力をさらに伸ばす。

【小学校算数】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要

【領域】

「数と計算」

- ◆全国平均をやや下回っている。

「図形」

- ◆全国平均をやや下回っている。

「測定」

- ◆全国平均をやや上回っている。

「変化と関係」

- ◆全国平均をやや下回っている。

「データの活用」

- ◆全国平均をやや下回っている。

今回の調査における課題

- 単位分数の個数に着目して数の大きさを捉え、数直線などの図と関連付けて理解する力に課題。

- 1立方センチメートルの立方体を用いて体積を捉える問題では、「その他の誤答」が目立ち、体積の概念の定着に課題。

- 複数の情報から必要な数値を抽出し、正確に処理する力に課題。

- 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、判断の根拠とする問題において、式の意味を正しく捉え判断する力に課題。

- 二次元の表から複数の条件に合う数値を読み取る問題は正答率が極めて低く、複雑な資料から必要な情報を抽出する力に大きな課題。

改善の方向

- 解決過程を言葉や図で説明する活動を充実させる。数直線等の視覚的モデルを活用し、数量関係を構造的に捉え、実感を伴う理解を図る指導を徹底する。

- 教具操作や ICT を活用し、実感を伴う学習を推進する。単位立方体を用いて体積の構造を捉え直すなど、図形に関する豊かな感覚と概念形成を促す。

- 複雑な条件に対し数直線等で情報を整理する習慣を育む。情報の処理の誤りを防ぐ手立てを指導し解決過程の精緻化を図る。

- 日常生活と学習の関連を図る授業を展開する。身近な事例から単位量あたりの比較の利便性を実感させ、抽象的な式の意味を具体的にイメージできるように、数学的活動の質を向上する。

- ICTを活用し、情報を分析する場面を意図的に設定する。複雑な資料の読解に思考ツール等で整理するスキルを養い、情報活用能力を育む。

質問紙の回答から見えてきた

《 東 札 幌 小 の 子 ど も 》



…全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの



…全国と比較して否定的な回答の割合が低いもの

学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

国語の勉強が得意。

国語の授業で、先生が、よいところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動をおこなっている。

地域や社会をよくするために何かしてみたい。

自分の学級は、人と違う意見を言っても否定されない。

自分と違う意見について考えるのは楽しい。

英語の勉強が好き。

これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった。

朝食を毎日食べていますか。

学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

平日、1日当たりどれくらいの時間スマートフォン等でSNSや動画視聴などをしますか。

学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。

算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか。

算数の授業で、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか。

算数の勉強は得意ですか。

《よさとして》

- 他者の意見を肯定的に受け止める学級経営が徹底されており、安心して自己表現できる基盤が築かれています。
- 教員が児童のよさを認める関わりができており、学校生活や地域社会に対する高い満足度と参画意識に結びついています。

《課題として》

- 「調べる」「まとめる」「発表する」といった学びのツールとしてのタブレット端末の活用。
- 自分の考えを言葉や式で説明することや、思考の助けとして「図・数直線」を活用・意識させる指導の充実。